



コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



小差の2位でバトンをつなぐ上野さん



滝川第二高校のチームメイトと



市役所を訪れ中具市長とガッツリ握手

「全国高等学校総合体育大会優勝！」

3年越しの願いを実現した元気人

平成22年度全国高等学校総合体育大会 美ら島沖縄総体2010(インターハイ)陸上男子4×100メートルリレーで見事優勝した元気な男性を紹介します。

上野雄介さん(18歳)城南町

「高校3年間の集大成として必ず優勝を」。その張り詰めた思いを胸に、グラウンドに立つ。ピストルが鳴り、4人のチームメイトにつながれるバトン。そして第4走者が先頭でゴールテープを切る。待ち焦がれた瞬間…。

願えば叶う

平成22年度インターハイ陸上男子4×100メートルリレー(7月29日～31日、沖縄市)に出場し、見事、日本一の栄冠を勝ち取ったのは、滝川第二高等学校3年陸上競技部主将の上野雄介さん。「インターハイで勝つことを目標に頑張ってきた。1年、2年の時は、決勝に進めなかった。3年越しの願いが叶い、とてもうれしい」と上野さんは笑顔で話します。

上野さんは、予選第3組の第3走者として出場し、チームは第3組トップのタイムで予選を通過しました。しかし、上野さんは、今年の春に負傷した左足が悪化し、とても翌日の準決勝に出られる状態ではありませんでした。

「おれたちが必ず決勝までつなぐから休め」

仲間からのその一言で準決勝への出場を断念しました。そして、チームは約束どおり準決勝も第2組トップのタイムで、決勝への出場を決めました。

そして迎えた決勝。足の痛みを押して、第3走者で出場しました。高鳴る鼓動。「負けるわけにはいかない。極限の精神状態の中、2位で最終走者へバトンをつなぎました。最終走者は勝負強い長谷川君。2位でつなげば絶対勝てると思った」と、上野さんは仲間へ絶大な信頼を寄せます。そうして、混戦のレース展開の中、41秒08のタイムで夢の栄冠を手に入れました。

子どものころの夢は野球選手

小学生のころから足の速かった上野さんは、但馬小学生陸上競技大会で上位の成績を収めていました。しかし「夢は野球選手」の上野さんは、小学2年生の時に始めた野球を続けるため、中学では学校の軟式野球部に入らず、市内の硬式野球チームに入部しました。それでも、クラブ活動は必須なので、足腰を鍛えるために陸上部に入部。する



▲次の目標に向かって意気込む笑顔が素敵な上野さん

と、めきめきとその頭角を現し、中学3年の時は、400メートルで全国ランキング1位のタイムをたたき出しました。「高校では、野球を続けるか陸上部に入るか悩んだけど、中学時代のライバルと一緒に走りたくて、滝川第二高校の陸上部に入ることに決めた」と、当時は振り返ります。

今を精一杯生きる

中学時代の、数々の但馬記録を今も保持している上野さん。「将来の夢はオリンピック選手？」の質問に、「今は、その時、その時を精一杯頑張りたい。目下の目標は、兵庫県高校記録(県立社高校・40秒96)を塗り替えること」と、あくまで謙虚な上野さん。残りわずかな高校生活。「願えば叶う」。そして、努力すればきっと上野さんの夢は実現することでしょう。

広報マンがやってきた!

幼稚園編

9

寺坂幼稚園

(出石)

〈園児7人〉



周囲に、のどかな田園風景

が広がる寺坂幼稚園では、寺坂小学校とのさまざまな交流事業が行われています。

9月3日、同小学校の体育館でかかし作りが行われましたので、その様子をのぞいてみました。

準備も万全! かかし作りに挑戦だ!!

もうすぐ楽しみにしていた恒例行事が始まります。園児たちは、かかしを飾り付ける材料や、ペットボトルを再利用して作ったかかしの頭など、かかし作りに必要な準備物を体育館へ運びます。どんなかかしができるのかな?



がんばって作るぞ! 「玄さん」かかし!!

「どんなかかしを作るのですか」。校長先生が園児たちに尋ねると「玄さんを作ります」と元気よく答えました。

今年の七夕まつりで「玄さん」に出会った園児たち。その魅力(?)に引かれ、自分たちの力で「玄さん」を作ってみたいと考えていました。どんな「玄さん」ができるのかな?

みんなの力を合わせれば必ずできる!

まず、竹にわらを巻き付け、「玄さん」の体を作ります。「よいしょ、よいしょ」と掛け声



を合わせながら作業を進めていきます。

飾り付けも怠りません。黒のガムテープを張り付けて、まゆや口を描いたり、青のビニールで法被を作ったり…。少しずつ、それらしい姿に近づいてきました。

漢字を習っていない園児たちは、胸の「玄」の字を「げん」と平仮名で書きま

わたしたちを見守ってね!

した。「玄さん」ならぬ「げんちゃん」の完成です。地域の田んぼに立てられる「げんちゃん」かかし。わたしたちをいつも見守ってね。



笑顔の輪

但馬地域唯一の室内管弦楽団
豊岡室内合奏団(豊岡)

毎週金曜日の夜、豊岡小学校の音楽室から清らかな音色が響き渡ります。

「豊岡室内合奏団」は、豊岡・

町荒木)は「1人では演奏できない楽器が多く、合奏にして初めて曲になる。みんなが積み重ねてきたものを合わせ、幅広い表現ができる楽しい」と、魅力を語ります。

養父・朝来・京丹後市などから、音楽好きの小学6年生から70歳代までの、幅広い年齢層の方約20人が集う、但馬地域唯一の管弦楽団です。職業は多種多様ですが、いつも楽しく和気あいあいと活動しています。

約20年前、弦楽アンサンブルをしていた方たちが、市民音楽祭に参加したのをきっかけに発足しました。

この楽団は、年1回、夏に開催する定期演奏会を活動の柱に、毎週1回、金曜日の夜に練習に励んでいます。

団長の旗谷徹志さん(出石)

現在、団員募集中! 問い合わせは、旗谷さんまで。
☎ 52-4497



▲13回目を迎えた豊岡室内合奏団2010定期演奏会

8月22日、出石文化会館ひほホールで開催した定期演奏会では、大曲「ベートーベン交響曲第7番」などを披露。当日は、20人では少ないため、交流のある京都府の楽団などに応援を依頼しました。「これからも続けていきたい。そのため、地元の子どもたちを育て、団員を増やしたい」と旗谷さんは